
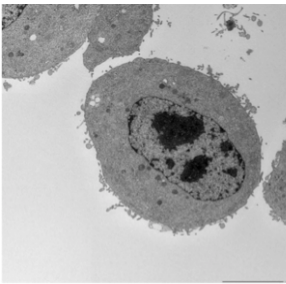
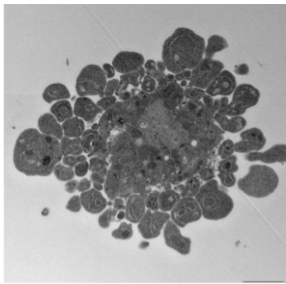
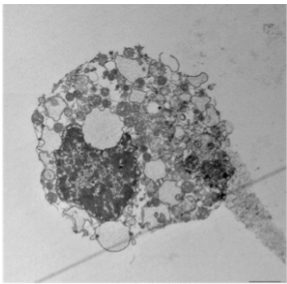


整理番号	HT28117	分野	医歯薬学・生物	(キーワード)細胞死
------	---------	----	---------	------------

東邦大学

細胞の「死」が、生命（いのち）を支えていることを学ぼう

先生(代表者)	中野 裕康(なかの ひろやす)医学部・教授			
自己紹介	<p>専門は分子生物学や細胞生物学で、細胞死や炎症、酸化ストレスの研究を行っています。細胞死の研究を様々な病気の治療に役立てたいと思っています。</p> <p>今回の講義や実験で細胞がどのようにして死ぬのか、また死んだ細胞はどのようにして生体の中で処理されるのかについての理解を深めて欲しいと思います。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成 28年 8月23日(火)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	東邦大学医学部1号館1階受付		(集合時間)	9:00
開催会場	<p>東邦大学医学部大森キャンパス</p> <p>住所: 〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16</p> <p>アクセスマップ: http://www.med.toho-u.ac.jp/access/index.html</p>			
内 容				
<p>多細胞生物が個体として生きている間も、その生物の中では毎日たくさんの細胞が死んでいるのです。なぜかという、成長の過程で不要になった細胞や、ウイルスに感染した細胞、DNAに傷害を受けた細胞を「死なせる」ことで除去することは、遺伝子の変異などを蓄積せずに、正確な遺伝情報を子孫に伝えるためにとても大切なことなのです。そこで本プログラムでは、細胞はどのようにして死ぬのか、細胞が死ぬと何が起こるのか、を授業と動画で学んだあと、細胞が死ぬときに起こる核の変化を実験で調べます。生物が元気に生き続けるためには細胞の「死」が必要であることを学びましょう。</p>				
  				
<p>正常細胞 細胞死 (アポトーシス) 細胞死 (ネクローシス)</p>				
スケジュール				持 ち 物
9:00 - 9:30 受付(東邦大学医学部大森キャンパス1号館1階)				・ 筆記用具
9:30 - 9:50 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				
9:50 - 10:35 講義『細胞の死は生物の生存に必要である』				
10:35 - 10:45 休憩				

10:45 - 12:20	実験:アポトーシスを起こした細胞からの DNA 抽出と電気泳動(1時間ごとに10分休憩)	特記事項 参加にあたっては、事前に保護者の方の同意(大学までの送迎は、保護者が責任を持つ)を得てください。 食物アレルギーがある場合は昼食を持参してください。
12:20 - 13:50	昼食と施設見学	
13:50 - 15:30	実験:アポトーシスを起こした細胞核の観察(1時間ごとに10分休憩)	
15:30 - 15:50	クッキータイム(大学院生、学生などとの歓談)	
16:30 - 17:00	修了式(未来博士号授与、アンケート記入)	
17:00	解散	

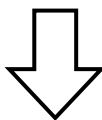
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	東邦大学医学部生化学講座・出口 裕
住所：	〒143-8540 東京都大田区大森西 5-21-16
TEL 番号：	03-3762-4151(内線 2355)
FAX 番号：	03-5493-5412
E-mail：	ydeguchi@med.toho-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年 6月30日(木)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月15日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中野 裕康	H26-H30	新学術領域	26110003	計画的ネクローシスが担う生体応答機構の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。